


日医標準レセプトシステム ORCA 連動

apPOS パソコンPOSレジシステム

- 正確迅速会計・現金管理・未収金管理が出来ます。
- 自動釣銭機付／キャッシュドロワ付の2タイプから選べます。
- 自動釣銭機付の場合、現金を投入するだけで釣銭を自動計算し、出金。計算間違いや、釣銭の渡し間違いを防ぎます。
- ノンカスタマイズで、導入後、速やかに本番稼働できます。
- 受付での会計業務量により、複数台セット(PCとレジ)構成が可能です。

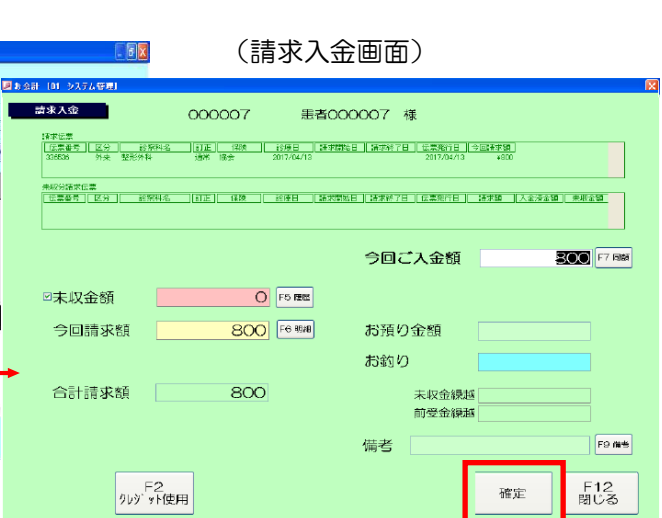
◆簡単操作の画面例

(本日分請求一覧画面)



NO	患者番号	患者名	区分	請求額	済訂正
1	000001	患者000001	外来	200	未通
2	000004	患者000004	外来	500	未通
3	000005	患者000005	外来	1,000	未通
4	000006	患者000006	外来	700	未通
5	000007	患者000007	外来	800	未通

(請求入金画面)



請求患者: 000007 患者000007 様

今日ご入金額: 800

合計請求額: 800

確定 (F12 閉じる)

◆システム構成例 (自動釣銭機付の例)



◆動作環境

ORCA	Ver 4.8.0 / Ubuntu 14.04
PC	Windows7 Pro 32/64bit 160GB HDD ※Windows10 未対応 (2017 秋予定)
接続機器	自動釣銭機 ACM-10, ACE-100 (ローレルバンクマシン製) ※自動釣銭機付の場合
ネットワーク	TCP/IPにより、ORCAマシンより連携

◆特 徴

1. 日レセ ORCA 直結連動で正確・迅速会計

①正確な会計処理

ORCA 連動なので請求金額の再入力（2度打ち）する必要が無く、請求間違いを防ぎます。

現金投入だけで釣銭を自動計算し出金しますので、計算間違いや渡し間違いを防ぎます。（*自動釣銭機付）

②迅速な会計処理

ORCA の診療費請求について、簡単な操作で会計処理ができます。

会計処理時間、および患者様の会計待ち時間が短縮できます。

③ORCA 直結

ORCA の外来・入院の両方に対応しています。

④ORCA 以外の対応

診療以外の入出金が管理できます。更に自動釣銭機付の場合は、qpPOS で現金の一括管理ができます。

（自動釣銭機を複数台構成にする場合は、自動釣銭機ごとに現金の一括管理ができます）

2. 締め処理作業の正確化・迅速化

①正確な締め作業

ORCA～qpPOS～釣銭機間で売上金額に差異が生じた時、差異箇所を表示できます。（*自動釣銭機付）

レジ終了時に、開始つり銭と最終つり銭の照合ができます。

会計の入出金と現金の照合が金種ごとに正確に把握できます。

②迅速な締め作業

釣銭登録、売上回収がワンタッチ操作で簡単に行うことができます。（*自動釣銭機付）

日計表作成でレジの現金管理も細かく速やかにチェックできます。

3. 細やかな未収金の管理

①会計履歴や前受金管理、

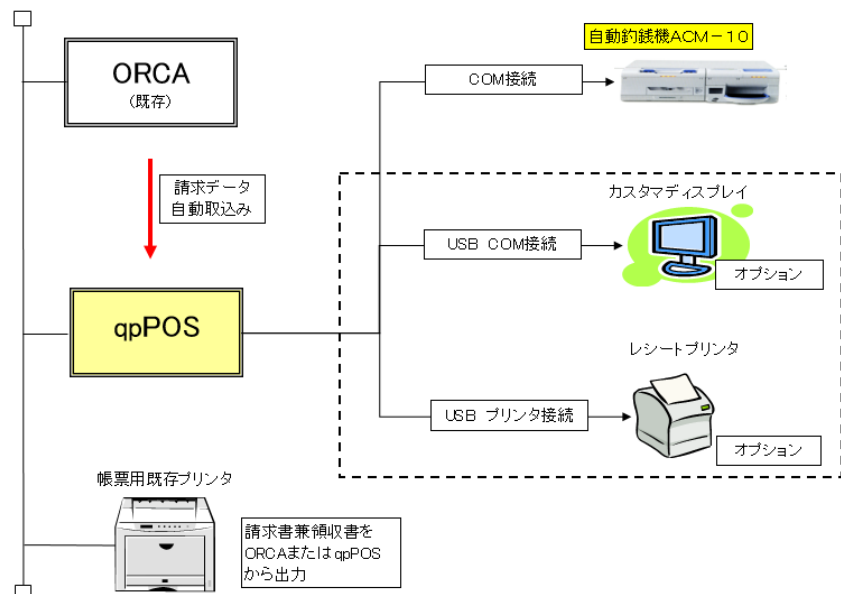
患者様の会計履歴をいつでも見ることができ、未収金・前受金の把握や消込みができます。

②未収金精算や督促状の発行

未収患者様の再来時に前回未収の精算や、未収患者様への請求書（督促状）を発行できます。

◆システム構成詳細

（自動釣銭機付の例）



◆導入メリット

【経営者の方】

- ①新人でも安心して窓口業務を任せられます。
ORCA 連動で請求データは自動入力
- ②現金管理が一元的にでき、現金トラブルが防げます。 (*自動釣銭機付の場合)
現金は全てつり銭機の内部に収納
- ③毎日の準備資金が抑えられます。 (*自動釣銭機付の場合)
つり銭準備金の装填や不足金補充は一括投入や両替等で簡単
- ④現金在高や売上高が直ぐにわかります。 (*自動釣銭機付の場合)
リアルタイムの現金管理でデータ上の現金在高と実際の在高が常に一致
- ⑤締処理が正確・迅速にでき、残業時間を抑えることができます。
締め時の現金計数作業が不要
- ⑥帳票が充実していて、きめ細かい管理ができます。
保険別日計等

【窓口医事担当の方】

- ①現金の数え間違いが無くなります。 (*自動釣銭機付の場合)
現金は数えず、まとめてつり銭機に「入れるだけ」で OK
- ②患者様へのつり銭受け渡しが簡単になります。 (*自動釣銭機付の場合)
つり銭機から出てきたつり銭は数えずに「渡すだけ」で OK
- ③複数患者様の合算精算ができ、事務の効率化が図れます。
家族一括精算等
- ④未収金の請求漏れが無くなります。
請求データ精算時に未収分を合算処理
- ⑤診療外精算や入出金処理等現金管理が一元的にできます。
前受預り金や介護用品等の診療外精算や入出金等一切合切の現金を一元管理
- ⑥締処理が正確・簡単・迅速にできます。
売上回収するだけの簡単操作

◆導入時の支援

apPOS 導入時は2日工程で、医療機関様の業務立ち上りをご支援いたします。

【1日目：午後】

- ①環境設定
apPOS（本体、自動釣銭機など）を医療機関様へ導入設定を行います。
ORCA 側の設定は、認定業者様で実施して頂きます。
- ②操作教育
業務の流れに沿って、実際の使用者の方へ操作教育を行います。
- ③過去未収データ取込
ORCA から抽出したそれまでの未収データを apPOS に登録し、導入後の未収漏れを防止します。

【2日目：終日】

- ④業務立会い
朝の起動から終業の締めまで、立会支援を行います。

◆apPOS による会計業務の流れ（自動釣銭機付）

1. 日常の会計処理（以下 ORCA で請求書兼領収書を印刷した場合）

①請求データ自動表示～患者様を指定

ORCA の請求データを apPOS が一定間隔で読み込み、患者毎に請求額が画面に表示されます。
ORCA で印刷された請求書兼領収書を確認して、画面から会計対象患者様を指定します。

②受取金の入金

患者様からお金を受け取り、自動釣銭機に投入します。
入金額に対して「つり銭」があるときは、つり銭額が表示されます。

③入金額確認

表示された入金額、つり銭額を目視し、正しければ「確認」ボタンを押します。
つり銭があれば自動釣銭機から出金されます。

④つり銭のお渡し

自動釣銭機から出金されたつり銭を患者様にお渡しします。

①～④の繰り返し

※請求書兼領収書を apPOS で発行する場合、④と合わせて請求書兼領収書を印刷します。

2. 診療費以外の精算処理（ORCA 以外の精算する場合）

①精算項目選択

前受金、介護用品等の精算項目を選択します。

②金額入力

金額を手入力すると、金額が表示されます。

③受取金の入金

患者様からお金を受け取り、自動釣銭機に投入します。
入金額に対して「つり銭」があるときは、つり銭額が表示されます。

④入金額確認

表示された入金額、つり銭額を目視し、正しければ「確認」ボタンを押します。
つり銭があれば自動釣銭機から出金されます。

⑤つり銭お渡し

自動釣銭機から出金されたつり銭を患者様にお渡しします。

⑥領収書発行

⑤と合わせて、精算項目に該当する領収書を印刷して患者様にお渡しします。
①～⑥の繰り返し

3. 締め処理（日々の業務終了時）

①売上回収

「売上回収」ボタンを押すと、当日の売上が回収できます。
紙幣はつり銭機のカセット金庫に、硬貨は払出口に払い出されます。

②売上額確認

apPOS 日計表の現金合計と売上回収額をチェックし一致を確認します。

※締め処理時不一致の場合

apPOS 日計表の現金合計と売上回収額が不一致の場合、ORCA と apPOS、apPOS と自動釣銭機間で精算項目毎に自動チェックし、不一致項目を印刷します。

◆機能

1. 精算機能

- ①当日受診された患者様の会計処理を行います。
- ②過去未収金がある場合は、当日診療費と合算で精算できます。
- ③同一患者様で複数診療費がある場合、一括で精算できます。
- ④お預り金額を投入すればお釣りが自動的に計算され、自動釣銭機から釣銭が出ます。(自動釣銭機付)
お預り金額を入力すればお釣りが自動的に計算されます。(キャッシュドロワ付)
- ⑤請求明細書、レジレシートを印刷できます。
- ⑥請求/入金履歴が確認できます。
- ⑦精算間違いのやり直しができます。
- ⑧家族合算で精算できます。

2. 未収管理機能

- ①精算未処理が一覧で確認できます。
- ②未処理請求データ一覧から精算処理ができます。

3. 診療外精算機能

- ①診療以外の入出金が管理できます。更に自動釣銭機付の場合は、qpPOS で現金の一括管理ができます。

4. 入院取込機能

- ①ORCA 入院データの取込みが出来ます。

5. 管理機能

- ①チェックツールで「ORCA にあり qpPOS に無い伝票」, 「qpPOS にあり ORCA に無い伝票」, 「ORCA と qpPOS の請求額」をそれぞれチェックできます。
- ②職員番号・氏名により、データ処理履歴が管理できます。

◆出力帳票

1. qpPOS からの帳票

- ①請求書兼領収書
- ②領収書 (レシートプリンタ用)
- ③未収領収書 (レシートプリンタ用)
- ④入出金 (レシートプリンタ用)
- ⑤前受預かり領収書 (レシートプリンタ用)
- ⑥日計表
- ⑦日計明細表
- ⑧入金チェックリスト
- ⑨入金履歴チェック表
- ⑩未処理請求伝票一覧表
- ⑪日計表 (保険別集計)
- ⑫診療外入金集計表
- ⑬入金チェックリスト (保険種類)
- ⑭入出金集計表
- ⑮台帳 (入院)
- ⑯台帳 (外来)

2. つり銭機からの帳票

- ①精査表 (自動釣銭機付の場合)

◆出力帳票例

日計表(保険別集計)

出力条件: 2017年4月13日

日計表の例

	今回請求額	請求入金額	未収発生額	未収請求額	未回収額	未収残
合計	24,830	23,830	1,000	1,700	1,700	0
治療(後期)	0	14,750	0	0	0	0
治療(社保)	0	0	0	0	780	0
治療(国保)	0	0	0	0	0	0
治療(自費)	0	0	0	0	0	0
ピン外	0	0	0	0	0	0
文書料	0	0	0	0	0	0
食事(後期)	0	0	0	0	0	0
食事(社保)	0	0	0	0	0	0
食事(国保)	0	0	0	0	0	0
食事(自費)	0	0	0	0	0	0
個室料	0	0	0	0	0	0
入院	0	14,750	0	0	0	0
外来	920	440	1,590	0	0	0
合計	16,830	16,830	0	16,830	0	0
入金	7,700	7,700	0	6,700	1,000	0
返金	24,530	24,530	0	23,530	1,000	0
現金	3,000	3,000	0	3,000	0	0
引落	-3,000	0	-3,000	-3,000		
振込	10,000	10,000	0	10,000	0	0
前受金精算	34,530	33,530	1,000	0		

2017年4月15日

精査表(自動釣銭機)の例

06月05日 12:01 精査表(点検)

15/06/05 12:01

曜未1

	前日残	件数	入金	件数	出金	当日残
釣銭持出入金		1	50,000	1	50,000	
口-カル入出金		7	3,270	0	0	
xxxxxx		0	0	0	0	
合計	0	8	53,270	1	50,000	3,270
両替		6	30,000	6	30,000	

現金在高

全 種	入出金額(現金庫)		入出金額(入金庫)		手 元		合 計	
	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額
10,000円	0	0	0	0	0	0	0	0
5,000円	0	0	0	0	0	0	0	0
2,000円	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000円	0	0	0	0	3	3,000	3	3,000
500円	0	0			0	0	0	0
100円	0	0			2	200	2	200
50円	0	0			1	50	1	50
10円	0	0			2	20	2	20
5円	0	0			0	0	0	0
1円	0	0			0	0	0	0
合計		0		0		3,270		3,270
金額入力計								0
現外項目計								0
総 合 計								3,270

開発・販売・サポート、お問合せ先 アドバンスシステム株式会社
qpPOS 担当

〒720-0076 広島県福山市本庄町中1丁目34番6号

TEL084-921-1082 / FAX 084-924-9241

URL <http://www.asd-ltd.co.jp/>

E-mail: qpinf@asd-ltd.co.jp